

取 扱 説 明 書

KS-109-B

スクリージャッキ式現場 CBR 試験機
(ロードセル及び表示器付)

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、必ず保管してください。
この取扱説明書は、必ず最終ユーザー様にお渡しください。

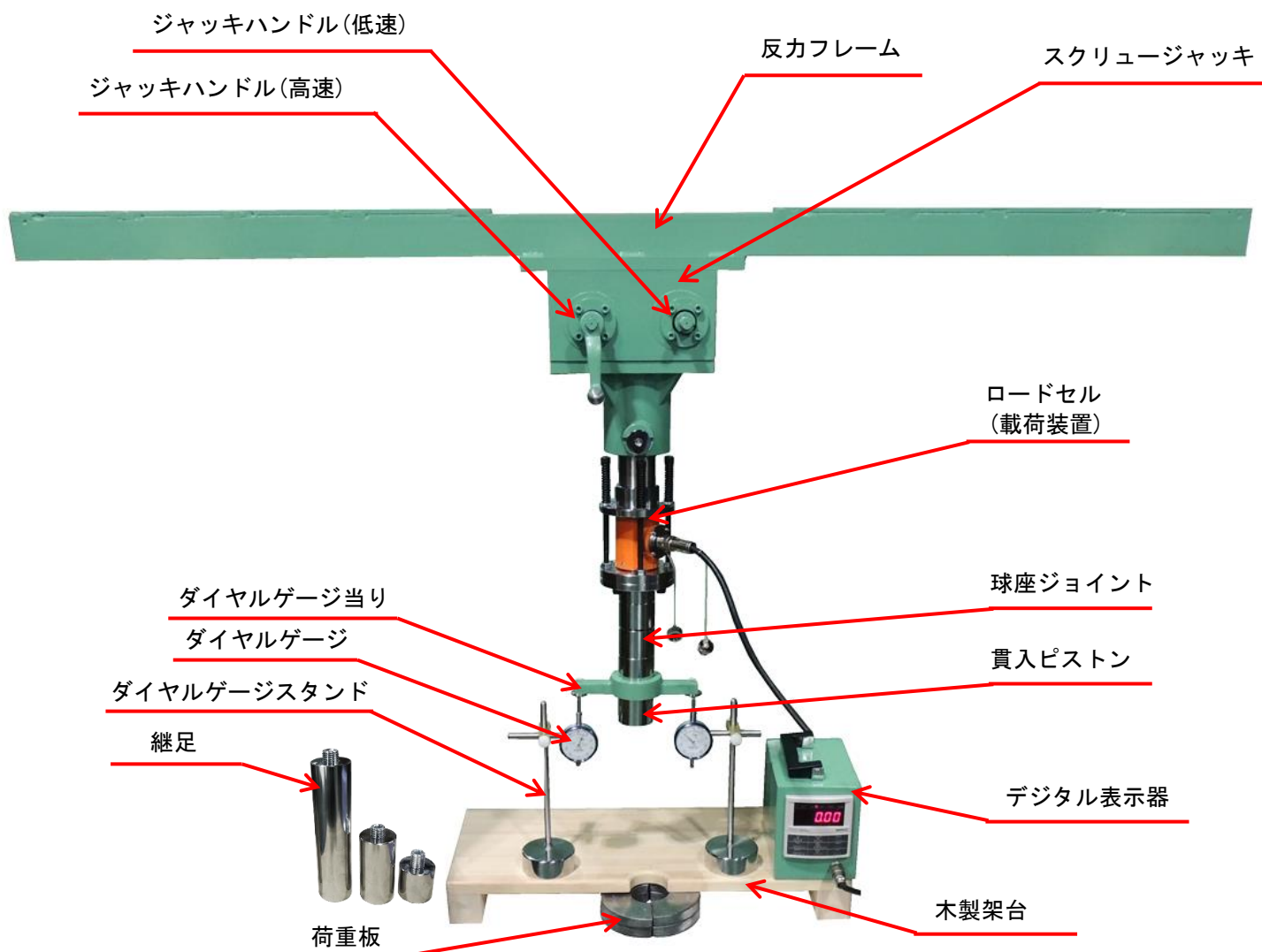


株式会社 関西機器製作所

〒538-0043 大阪市鶴見区今津南2丁目4番26号

TEL 06(6961)7637 FAX 06(6961)8062

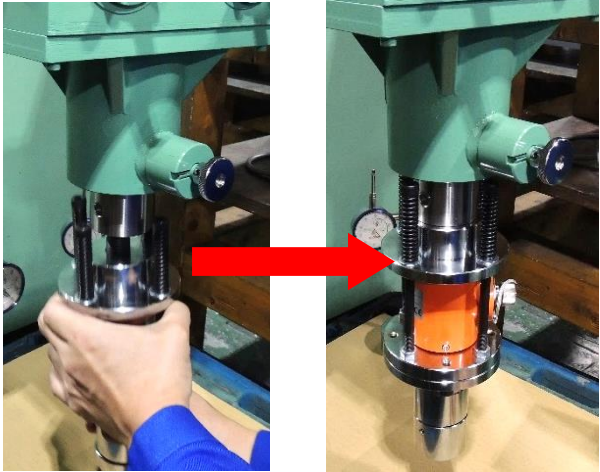



1. 機器の構成




2. 仕様概要

反力フレーム	長さ 1,500 mm × 1
スクリュージャッキ	能力 50kN ロードセル（取付具付）
球座ジョイント	× 1
ダイアルゲージ当り	貫入ピストンに取付
貫入ピストン	φ 50 mm × 長さ 200 mm
ダイアルゲージ	20 mm × 2
ダイアルゲージスタンド	× 2
デジタル表示器	× 1
継足	長さ 200 mm 100 mm 50 mm 各 1
架台	木製 × 1
荷重板	1.25kg 鉛製 × 4

3. 使用方法

1)	スクリージャッキのピストンの先にロードセルを取り付ける。	
2)	ロードセルに貫入ピストン(または継足)を取り付ける。	
3)	貫入ピストン(または継足)にダイヤルゲージを取り付ける。	
4)	試験面に荷重板を4個載せる。 木製架台、ダイヤルゲージスタンドに取り付けたダイヤルゲージを置く。	

5)	<p>ダイヤルゲージの先端がダイヤルゲージ当りに接触するように取り付け、貫入量測定の準備をする。</p> <p>※貫入ピストンと試験面が離れすぎている場合は、ジャッキの位置を低くするか補足ピストンを継ぎ足すなどで調整してください。</p>	
----	---	--

4. 表示器の操作方法

1)	<p>【ピークホールド】</p> <p>瞬間的に発生する荷重値を保持します。</p>	
2)	<p>【ゼロ調】</p> <p>指示値をゼロにします。</p>	

5. 注意事項

- 1) ジャッキ・反力フレームを持ち上げる時、下ろす時は十分に注意して作業をしてください。
- 2) ジャッキにより荷重を掛けた時に、荷重装置支から荷重が抜け倒れることがありますので注意してください。
- 3) 装置使用後は土を落とす等清掃してください。